

日々の児童の様子を学校ホームページにアップしています。ぜひ、ご覧ください。



とちのき通信

NO.8 (令和7年12月19日)
宇都宮市立雀宮中央小学校
発行責任者 細井三知代

目
指
す
児
童
像

明るく元気でがんばる子ども（元気）
進んで学びよく考える子ども（やる気）
心豊かで思いやりのある子ども（思いやり）
合言葉「元気 やる気 思いやりのある 雀央っ子」



学校ホームページ

早いもので今年最後の月となり、令和7年も残すところあと12日となりました。全国的にインフルエンザの流行が止まらず、ニュース等でも報道されています。本校でも、手洗い・うがい・消毒を励行していますが、完全に感染を封じ込めることは難しい状況です。ご家庭でも基本的な感染予防についてご指導いただくとともに、睡眠と栄養も意識していただければと思います。ご協力をよろしくお願ひいたします。

着任式

12月1日(月)校内テレビ放送で 山越 奈津希 先生 の着任式を行いました。主に6年2組の教科を担当しますが、他の教員が出張等で不在のときに補教で他学年・他学級の教室に行くこともあります。

よろしくお願ひいたします。



修学旅行（神奈川・東京方面）

11月19日(水)～20日(木)に、修学旅行がありました。6年生にとって最大の行事と言ってもよいかもしれません。1日目はお天気にも恵まれ、子供たちは班別活動で鎌倉の町を満喫していました。2日目は東京です。国会議事堂、科学技術館、スカイツリーを見学しました。行き帰りのバスでは、子供たちが考えたレクリエーションも行われ、思い出に残る楽しい2日間となりました。



第35回校内ドッジボール大会

校内ドッジボール大会は、35回目を迎える雀央小伝統の行事です。今年は12月1日(月)～4日(木)に行われました。オープンスクールを兼ねているので、たくさんの保護者の皆様や地域の皆様にも応援に来ていただきました。低学年ブロックは男女とも2年2組が優勝、中学年ブロックは男子3年1組、女子4年1組、高学年ブロックは男女とも6年3組が優勝しました。どのクラスも練習の段階からがんばって、仲間の絆が深まったようです。



授業参観(オープンスクール)・雀央フェスタ 2025

12月6日(土)は全市一斉の土曜授業でした。授業の後は、PTA執行部主催の「雀央フェスタ」です。子供たちはPTA、スポーツ少年団各部、地域協議会が担当するアトラクションやものづくりの各ブースを回り、笑顔いっぱいで楽しんでいました。また、今年は新たに、おとうさん倶楽部による「WAKU WAKU わたあめやさん」の出店があり、長蛇の列ができるほど大盛況でした。



⼦供たちを「上手に叱る」ことの難しさ

家庭でも学校でも子供を叱らなければならない場面があります。そのとき、大人側には怒りの感情が伴うことが多いものです。しかし、怒りを前面に出さずにコントロールしながら、上手に叱ることが大切です。ここで、効果的でない叱り方の例をいくつか挙げてみます。

- 大声で怒鳴る…子供にとっては声の大きさや怖さの方が勝り、言われている内容は心に残りません。
- 周囲に人がいる場所で叱責する…子供の自尊心を傷つけることにつながります。
- ほかの人と比べる…子供の成長は人それぞれです。NGワード「〇〇ちゃんはできるのに、あなたは」
- 無理なことを強制する…練習すればできるようになるものと、そうでないものがあります。
- 漠然と伝える…「きちんと」「早く」などは曖昧で分かりにくいものです。具体的に伝えましょう。

叩く・蹴るなどは論外です。**今の時代、親がしつけだと思っても暴力は絶対NG、アウトです。**

また、叱ったときに、子供が「〇〇ちゃんだって、やってるもん」とか「〇〇さんが先にやってきたから、やり返したんだよ」などと言うことがあります。こういうときは、子供の話を十分に聞いてあげてください。そして「そうだったんだね」と受け止めつつ、「それでもあなたがやったこと自体はいけないことだよ」と諭してほしいと思います。上手に叱るって難しいですが、共にがんばりましょう！

手をポケットから出して歩きます

冬になっても子供たちは元気に登校していますが、特に朝はまだ気温が低く、寒そうにしている様子が見られます。そのような中、手をポケットに入れて歩いているのを見かけることがあります。手が自由になつていないと、転んだときなどとっさに手をつくことができずとても危険です。

年度当初に子供たちに配付した「雀央小のきまり」の中でも「寒い日は、手袋などをして登校します。ポケットに手を入れて歩きません」と明記されています。朝、お子様を送り出すときに手袋をしているかを確認していただけますと助かります。

また、「寒い日の登下校は、フードをかぶらずに、暖かい帽子などをかびります」という一文もあります。フードをかぶると視界が狭くなり、周りの様子が分かりにくくなつて危険だからです。

学校と家庭とで共通理解を図り、子供たちの安全を守っていきましょう。よろしくお願ひします。